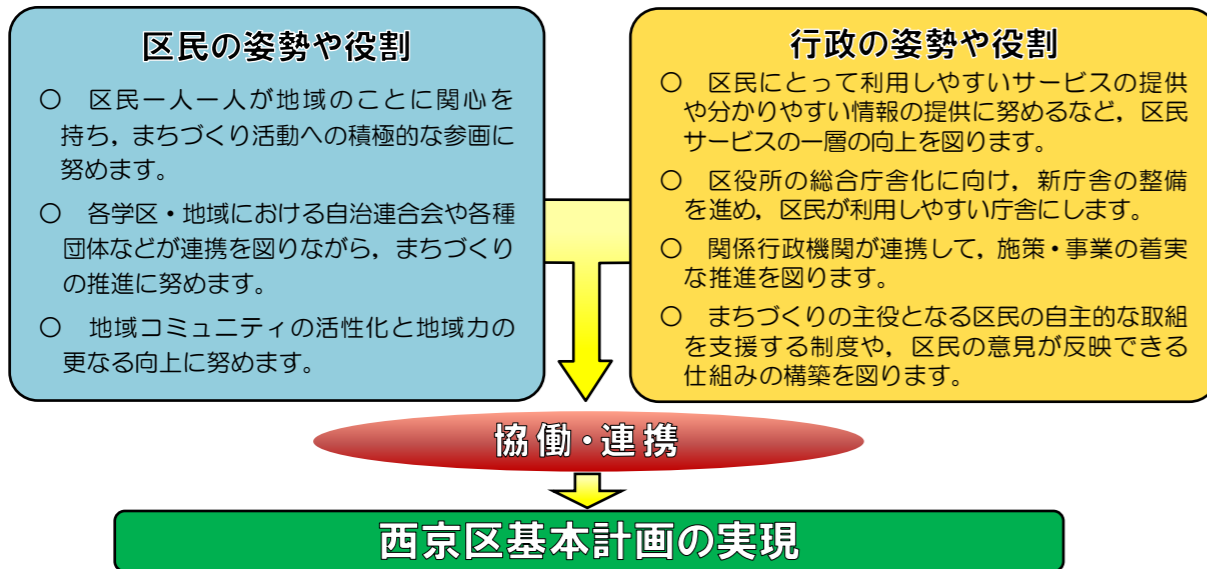
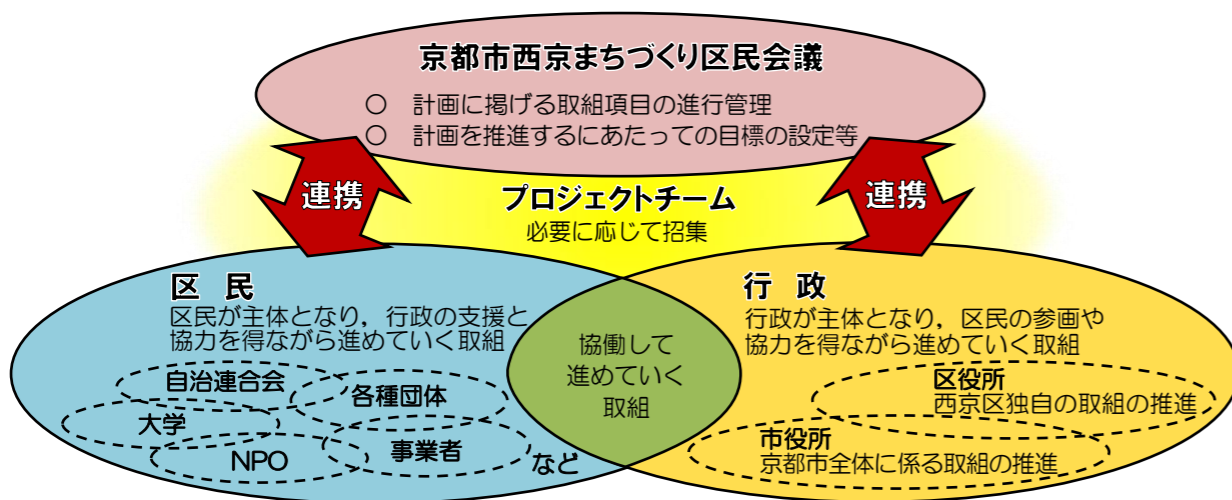


## 実現に向けて

**協働によるまちづくりの推進** 西京区基本計画の実現には、区民の力が不可欠です。区民と行政が次のような姿勢と役割を持ち、協働でまちづくりを推進することで計画の実現を目指します。



**計画の推進体制** 「西京まちづくり区民会議」で計画の進行管理を行います。区民と行政は、相互に連携を図りながら、取組を推進します。



## 策定経過と今後のスケジュール

令和元年度 西京まちづくり区民会議3回、実感度アンケート1回、自治連合会臨時会長会議1回

令和2年度 西京まちづくり区民会議1回、計画（案）に対する意見募集

令和3年度 西京まちづくり区民会議1回（6月予定）、計画の策定（7月予定）



令和3年3月発行 京都市印刷物 第023190号

発行 西京区役所 地域力推進室 企画担当、洛西支所 地域力推進室 総務・防災担当

電話 075-381-7158

F A X 075-381-6135



# 西京区基本計画(案) 意見募集冊子

## 皆様からの御意見を募集します！

西京区基本計画は、区の将来の姿や目指すべき方向性を区民と行政が共有し、協働してまちづくりを進めていくための中長期のビジョンです。

西京区では、新たな基本計画の策定に向けて、地域団体の方や学識経験者など様々な立場の方からなる「西京まちづくり区民会議」を中心に審議を重ね、第3期となる西京区基本計画（案）を取りまとめました。皆様の西京区への想いを今後の検討にいかしてまいりますので、是非とも御意見をお寄せください。

**意見募集期間** 令和3年3月15日（月）～ 令和3年4月15日（木）【必着】

**意見の提出方法** 次の方法で御提出ください。FAX又は郵送（持参）の場合は、この冊子に挟み込んだ御意見応募用紙を御利用ください。（ほかの用紙でも結構です。）

**ホームページ** <https://www.city.kyoto.lg.jp/nisikyo/page/0000280434.html>  
（入力フォームから、御意見の提出ができます。）



**電子メール** [nisikyo@city.kyoto.lg.jp](mailto:nisikyo@city.kyoto.lg.jp)

**F A X** 075-381-6135

**郵送（持参）** 〒615-8522（郵便番号だけでも届きます。）

京都市西京区上桂森下町 25-1  
西京区役所 地域力推進室 企画担当  
（持参の場合は、2階26番窓口の応募箱へ投かんください。）

※ このほか、別館（桂良町1-2）、洛西支所（大原野東境谷町二丁目1-2）にも応募箱を設置しています。



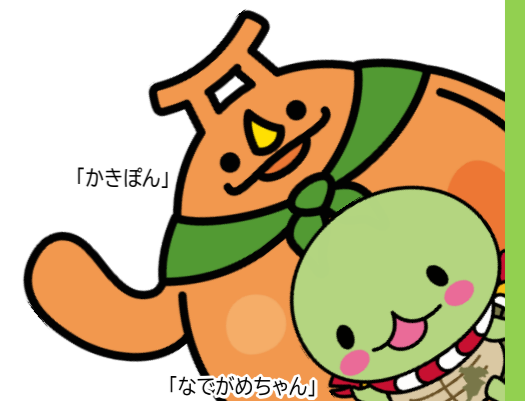
**御意見の取扱い** お寄せいただいた御意見につきましては、個人に関する情報を除き、内容を公開する場合があります。また、御意見に対する個別の回答はいたしませんので御了承ください。

この冊子は、計画（案）の「概要版」で要点のみ掲載しています。より詳しい内容は、計画（案）の「本冊」を御覧ください。（「本冊」は上記ホームページに掲載しています。）



西京区マスコットキャラクター「にしきょう・たけにょん」

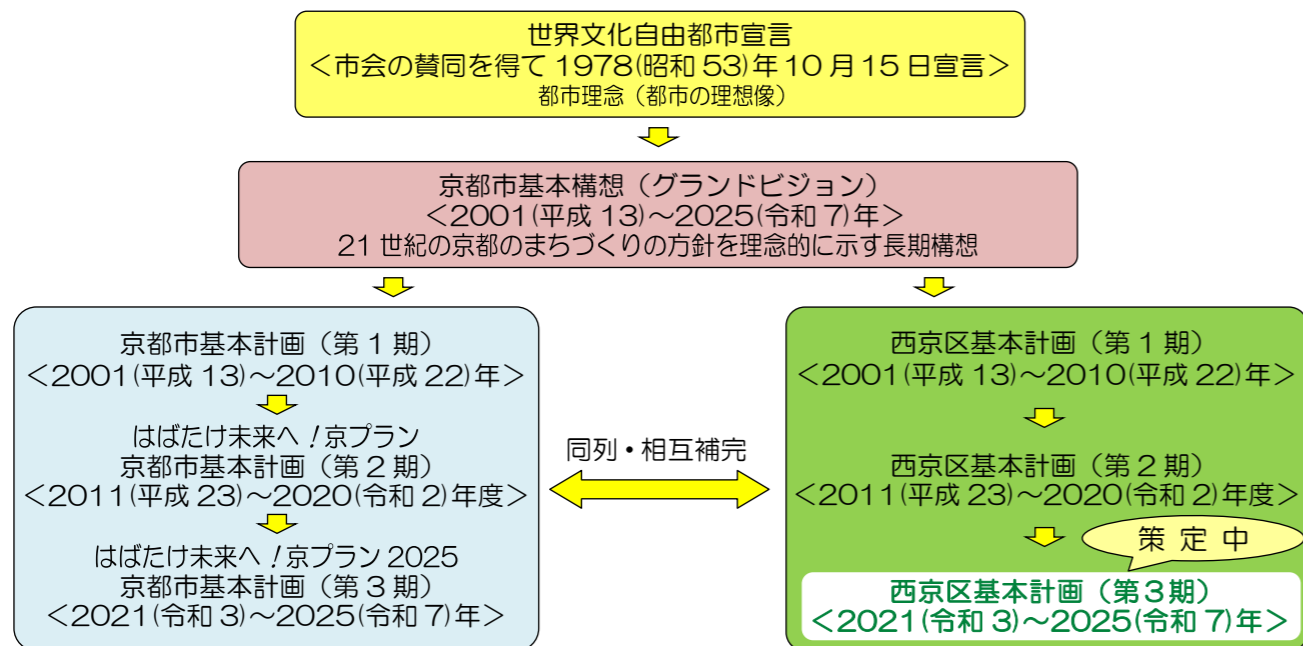
令和3年3月  
西京区役所  
洛西支所



「なでがめちゃん」

## 西京区基本計画とは

**計画の位置付け** 西京区基本計画は、「京都市基本構想（グランドビジョン）」の下、京都の未来像と主要政策を明示した「京都市基本計画」と同列の計画で、相互に補完し合う関係です。



**取組期間** 2021（令和3）年度から 2025（令和7）年までとします。

### 策定に当たっての考え方

- 目指すべき将来の姿の実現に向け、区民と行政の協働により進めるまちづくりの指針とします。
- まちづくりの主役である区民が理解しやすく、区民の共感が得られる計画としています。
- 西京まちづくり区民会議等において集約された知恵や情熱等を計画に反映します。
- 第2期の西京区基本計画における成果や課題を確実に引き継ぐとともに、社会情勢の変化や時代潮流を踏まえ、更なる進化を図ります。

### ！ 京都市の行財政改革について

#### ◆ 財政が厳しい中でも充実した行政サービスを維持

市民一人当たりの市税収入が他都市より少ない中、全国トップ水準の福祉・医療・教育・子育て支援などを実施。その水準を維持するため、職員数の削減や事業の見直しなどの行財政改革を行ってきました。

しかし、国からの地方交付税が大幅に削減され、収入が伸び悩む中、高齢化による社会福祉関連経費などの支出が増加。宿泊税の導入など増収増の取り組みや行財政改革を実施してもなお、支出が収入を上回る状況が続いており、将来の借金返済の積立金（公債償還基金）などを取り崩し、将来世代へ負担を先送りしている状態です。

#### ◆ 今後の収支見通しと財政再生団体になる危機

新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、市税収入の回復が見込めない中、社会福祉関連経費の増加が続くことで、今後、毎年度 500 億円もの財源不足が見込まれており、最悪の場合、財政再生団体になると、最低限の行政サービスしかできず、税金やさまざまな料金が値上げとなります。

#### ◆ 今後の改革の視点 ～最悪の事態を回避し、明るい未来を展望～

本市の財政状況や各施策の効果等を市民の皆様と共有し、市民の皆様の御理解のもと、真に必要な施策を持続可能にするための事業見直しや、公共施設の適正管理・受益者負担の適正化等に取り組むとともに、若者や企業の定着を図り、支え手を増やすことで増収増につなげ、全ての世代が暮らしやすく、魅力・活力あるまちを目指します。

## プロジェクトの概要

暮らしを支える公共交通の更なる充実	区内の交通事業者等との連携の下、地域の特性に応じた公共交通の充実に努め、利便性の一層の向上を図るとともに、公共交通利用促進に向けた様々な取組を進めます。
創造的な都市圏を創出する新たな交通ネットワークの検討	近隣自治体を含めた創造的な都市圏の創出に向け、京都府と協力、一丸となり、国の強力な支援を得て、新たな環状ネットワークの検討を進めます。
地域のにぎわいにつながる公園づくり	既存の公園について、計画的な改修や区民と連携した維持管理を進めるとともに、民間活力を導入した公園の利活用により魅力を高め、区民から一層愛され憩いの場となるような公園づくりを進めます。
京都の持続可能な発展につながる芸大跡地の活用と洛西ニュータウンの再生・活性化	京都の持続可能な発展のため、京都市立芸術大学跡地の活用や洛西ニュータウンの再生・活性化に向けたにぎわいの創出を検討します。

地域経済活動の活性化と職住近接のまちづくり	地域の特性を活かし、地域に密着した産業の振興を図るとともに、区民の多様なライフスタイルの実現に向けて、職住近接のまちづくりを進めます。また、産学公連携の下、社会課題の解決や市民生活の向上につながる新たな産業の創出を図ります。
-----------------------	--

### 4 暮らしやすい都市基盤が整うまちづくり

公共交通の充実が区民の願いです。西京区の更なる発展を目指し、鉄道やバスなどの公共交通の充実に努めながら、新たな交通ネットワークの検討を行います。また、幹線道路の整備や河川改修を行うほか、歩行者や自転車、車いすなどが安全に通行できる道路環境の整備、地域のにぎわいにつながる公園づくりを進めます。さらに、区民参加の下、まちづくり機能の拠点として、西京区総合庁舎整備を進めます。

公共交通	<b>1 暮らしを支える公共交通の更なる充実</b> <b>重点取組</b> ▶地域の特性に応じた新たな交通システムの構築や交通事業者と連携した利便性向上策の検討 ▶区民のニーズや利用実態に応じた、より利便性の高いバス路線・ダイヤの検討
新交通ネットワーク	<b>2 創造的な都市圏を創出する新たな交通ネットワークの検討</b> <b>重点取組</b> ▶既存の交通ネットワークを縦横断的に結ぶ新たな環状ネットワークの検討
道路環境	<b>3 暮らしやすい道路環境の整備</b> ▶「バリアフリー移動等円滑化基本構想」に基づく道路等のバリアフリー化の推進（阪急嵐山・松尾大社地区、上桂地区）
河川・上下水道	<b>4 河川・上下水道の整備</b> ▶緊急時に備えた飲料水の備蓄の啓発 ▶善峰川、新川等の改修事業の促進による河川環境の保全
公園	<b>5 地域のにぎわいにつながる公園づくり</b> <b>重点取組</b> ▶Park-PFI等による民間活力を用いた公園の新たなにぎわいの創出 ▶公園愛護協会等区民と連携した公園の維持管理 ▶身近な公園を活かしたプレイパークの推進
芸大跡地・洛西ニュータウン	<b>6 京都の持続可能な発展につながる芸大跡地の活用と洛西ニュータウンの再生・活性化</b> <b>重点取組</b> ▶芸大跡地の有効な利活用についての検討 ▶洛西ニュータウンにおけるタウンセンター及びサブセンター活性化の検討
地域経済活動・職住近接	<b>7 地域経済活動の活性化と職住近接のまちづくり</b> <b>重点取組</b> ▶社会や地域の課題解決につながるソーシャルビジネス、コミュニティビジネスの支援 ▶企業のCSR活動の推進 ▶西京区の特産品や手作品等を販売するマルシェ等の開催支援
景観・住環境	<b>8 美しい景観とまちの活力につながる住環境の創出</b> ▶美しい景観・まちなみの形成 ▶まちの活力につながる住環境の創出
総合庁舎整備	<b>9 西京区総合庁舎整備</b> ▶新庁舎の整備（保健福祉センター別館機能の統合） ▶西京区総合庁舎整備にあわせた、洛西地域のまちづくり機能強化の検討

### 3 人と歴史・文化が輝くまちづくり

身近な祭りや伝統行事などを通じて、地域コミュニティの活性化を図るとともに、地域の魅力を発信します。また、地域の魅力を活かした観光の取組を進め、交流人口増加につなげる等、地域のにぎわい創出を図るとともに、健康増進にもつながる市民スポーツの更なる振興、生涯学習の推進や地域と区内の学術・医療機関等との交流、近隣自治体等との住民交流の推進を図ります。

歴史・文化	<b>1 地域の歴史・文化の継承と活用</b> ▶地域と行政が連携した地域の歴史の勉強会等の実施 ▶地域文化の発信や歴史探訪等を行う団体の活動支援
観光	<b>2 地域の魅力を活かした観光の振興</b> ▶西京エリアでのモデルコースや民間活力によるサイクルツアーの造成など自転車観光の推進 ▶地元の各種団体や近隣自治体とのネットワーク強化、観光資源相互の結びつきによる発信力の向上
市民スポーツ	<b>3 市民スポーツの振興</b> ▶西京ウォーキング・サイクリングマップの作成・配布、ウォーキングイベントの振興 ▶体育振興会連合会、スポーツ推進指導員会等による市民スポーツ振興活動の支援
生涯学習	<b>4 生涯学習の推進</b> ▶幅広い生涯学習関係団体、地域の各種団体等と連携した生涯学習活動の推進 ▶区民の生涯学習の拠点や区民の集いの場としての図書館機能の充実
学術・医療機関	<b>5 学術・医療機関等との連携</b> <b>重点取組</b> ▶学術・医療機関等に集積する知識やノウハウの地域での活用、地域での大学等の実践の場の確保等
近隣自治体	<b>6 近隣自治体等との連携の推進</b> <b>重点取組</b> ▶獣害対策など農業分野等での広域連携 ▶西山エリアの自治体が連携した広域観光の展開

**住民自治を支える地域の絆づくり**

住民自治の礎となる地域自治活動の更なる活性化を図るため、地域コミュニティの要となる自治会加入率の向上につながるよう、地域が主体となった取組を一層進めるとともに、地域の絆づくりを積極的に支援します。

まちづくりの取組

「4つのまちづくりの方向性」ごとに主な「まちづくりの取組」をまとめました。

まちづくりの取組

① 人と人が支え合う区民が主役のまちづくり

誰もがいつまでも安心して暮らすことができるよう、自治会や各種団体、NPOなど、地域の様々な団体の力を活かし、人と人とのつながりを大切にしながら、お互いに認め合い、誰もが生きがいと喜びを感じ、いきいきと過ごせるまちづくりを進めます。

また、子どもや高齢者の見守り活動をはじめ、地域を挙げた防犯・交通安全・防災活動など、いつまでも安心して暮らすことができるまちづくりを進めるとともに、住みよい環境づくりに努めます。

**人権・共生**

**1 誰もが尊重されるまちづくりの推進**

- ▶人権文化の構築と多文化共生社会の推進・男女共同参画社会の推進
- ▶バリアフリー・ユニバーサルデザインの推進

**地域コミュニティ**

**2 地域コミュニティの更なる活性化**

- ▶人と人とのつながりづくり ▶地域のイメージづくり

**地域の絆**

**3 住民自治を支える地域の絆づくり** **重点取組**

- ▶地域におけるまちづくり活動の充実・支援
- ▶地域を支える人づくり

**区民参加**

**4 協働によるまちづくりの推進**

- ▶区民参加の促進 ▶多様な主体によるまちづくりの推進

**福祉**

**5 地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制の構築** **重点取組**

- ▶地域福祉の推進 ▶高齢者福祉の充実 ▶障害者福祉の充実

**健康**

**6 健康づくりの推進**

- ▶健康づくりの支援充実 ▶介護予防の推進

**子育て・教育**

**7 子育て・教育環境の充実**

- ▶乳幼児からの健やかな発育・発達支援、児童虐待の未然防止
- ▶子育て家庭への支援
- ▶地域との連携による学校教育の推進と子どもの特性に応じた教育の充実

**次世代の担い手**

**8 次世代の担い手の育成** **重点取組**

- ▶地域ぐるみでの子ども・若者支援
- ▶子ども・若者の健全育成の推進

**安心安全**

**9 安心して安全なまちづくりの推進**

- ▶地域ぐるみの防犯活動の推進 ▶交通安全対策の推進
- ▶地域の防災対策の推進 ▶食の安全と感染症対策
- ▶人と動物との共生社会の推進

**地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制の構築**

地域共生社会の実現に向け、地域で暮らす住民誰もがその人の状況に応じた支援を受けられるよう、多様な主体による協働を推進し、包括的な支援体制の構築を進めます。

**次世代の担い手の育成**

次世代を担う子ども・若者を地域社会の中で大切に育むため、地域活動や社会体験などの社会とつながる機会の提供を通じて、子ども・若者の自己成長を促進します。

**学術・医療機関等との連携の推進**

京都大学や京都経済短期大学、国際日本文化研究センター、総合病院等と地域との交流を促進し、地域の活性化につなげます。

**近隣自治体等との連携の推進**

京都の「西の玄関口」として、近隣の自治体等との交流、連携を深め、それぞれの地域の特性を活かしながら、地域の魅力と活力の向上につながるまちづくりを進めます。



② 環境と共生するまちづくり

西山や桂川、小畑川などの豊かな自然環境をはじめ、街路樹などの身近な緑を大切に、かけがえのない財産を未来へ引き継ぐとともに、身近な自然とのふれあいを通じて、環境に関する意識の更なる向上につなげます。

また、西山を背景とする景観や、大原野の広大な田園風景、旧山陰街道沿いの歴史的な景観など、西京ならではの美しい景観の保全を図るほか、身近な緑を活かしたうおいある景観の創出に努めます。

さらに、まちの美化活動やごみの減量化、リサイクルなどについて、区民の環境に関する高い意識や市民力を活かし、引き続き積極的に取り組むことで環境にやさしいまちづくりを進めます。加えて、多様な分野との連携を進める等農業の振興を図るとともに、地産地消の推進に努めます。

**自然環境**

**1 自然環境の保全と緑化の推進**

- ▶豊かな自然環境の保全とまちの緑化の推進
- ▶環境を大切にすることの育成

**歩くまち**

**2 歩いて楽しいまちづくりの推進**

- ▶モビリティマネジメントの取組推進
- ▶民間事業者と連携したシェアサイクルでの電動アシスト付自転車導入

**まちの美化**

**3 まちの美化活動の推進**

- ▶地域住民による門掃き運動や公園、道路などの清掃、除草の推進
- ▶学区・地域における一斉清掃、環境問題に対する啓発活動

**脱炭素・循環型社会**

**4 脱炭素・循環型社会の構築**

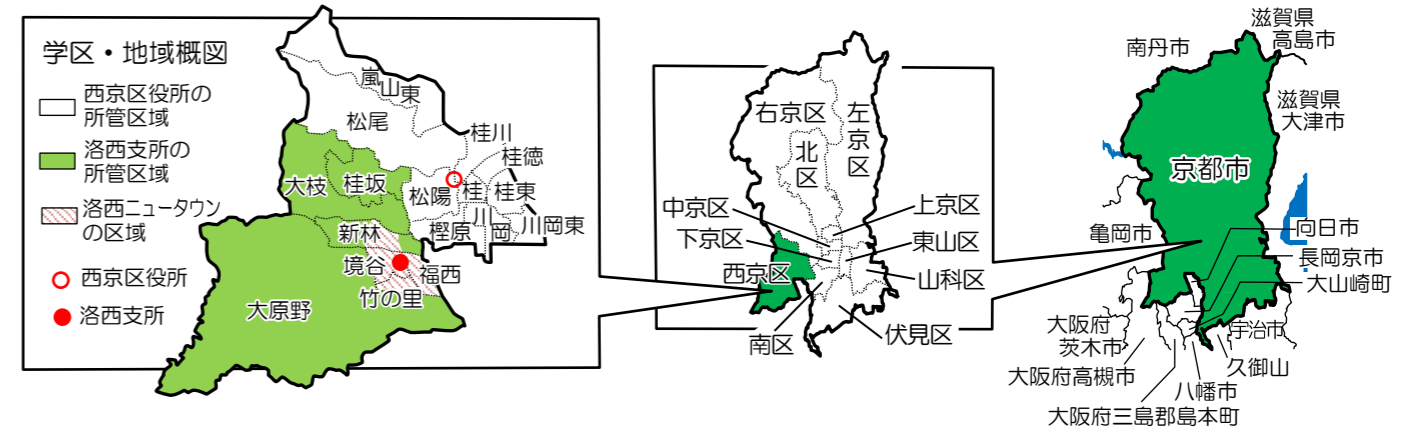
- ▶ライフスタイルやビジネススタイルの転換・定着による使い捨てプラスチックごみの削減・リサイクルの推進
- ▶食品ロスの削減に向けた取組の推進
- ▶再生可能エネルギーの普及拡大

**農業**

**5 田園環境の保全と農業の振興**

- ▶田園環境の保全・活用 ▶農業の振興 ▶地産地消の推進

西京区の概要

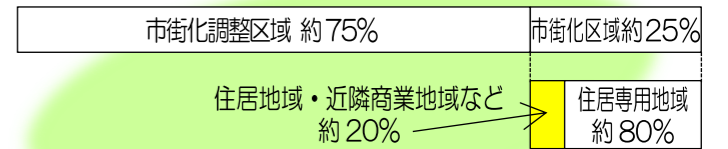


地勢・自然環境

西京区は、西山連峰や桂川を有し、緑豊かで自然に恵まれた地域です。

区域の約75%が開発行為が厳しく制限される市街化調整区域となっています。

また、市街化区域のうち、約8割が住居専用地域であり、良好な居住環境が保全されている反面、店舗、飲食店の立地には規模による制限があります。



人口減少と高齢化

平成22年と令和元年を比較すると、区全体で人口が約4千人減少し、高齢化率が約7.5%上昇しています。特に洛西ニュータウンの高齢化率は、約25%から約41%と急激に高まっています。

これは、京都市全体の高齢化率（約28%）と比較しても非常に高い数値となっております。

一方、西京区の子どもの（15歳未満）の割合は令和元年で12.8%と京都市全体（10.9%）を上回っています。

H22 国勢調査とR1 推計人口の比較

（洛西ニュータウンはR1 住民基本台帳人口）

	人口	高齢化率(65歳以上)
西京区全体	148,970人 (152,974人)	約27.7% (約20.2%)
洛西ニュータウン	22,679人 (25,660人)	約41.7% (約25.1%) 京都市 約28.0% (約23.0%)

上段：R1 統計値  
下段：(H22 統計値)

まちづくりの方向性

西京区の今後の課題に対して、4つの方向性の下で、まちづくりを進めます。

課題	まちづくりの方向性
地域コミュニティの活性化や地域共生社会の実現に向けた人と人が支え合う体制が必要	➡ ① 人と人が支え合う区民が主役のまちづくり 地域の絆を育み、安心して暮らせるまちを目指します。
豊かな自然環境の保全や環境と共生するまちづくりを進めることが必要	➡ ② 環境と共生するまちづくり 美しい自然を守り育て、未来へ引き継ぐまちを目指します。
地域資源である歴史・文化を活用したまちづくりを進めることが必要	➡ ③ 人と歴史・文化が輝くまちづくり 地域の魅力を活かし、多彩な交流が進むまちを目指します。
都市基盤の整備と公共交通の一層の充実が必要	➡ ④ 暮らしやすい都市基盤が整うまちづくり 快適で、いつまでも住み続けたいと思うまちを目指します。

基本計画の全体像

将来の姿

今後5年間で目指す姿であり、西京区基本計画（第3期）の基本理念となります。  
この基本理念の下、「4つのまちづくりの方向性」に沿って、活力と魅力にあふれるまちづくりを区民と行政とが一体となって進めていきます。

重点取組「次世代へつなぐプロジェクト」(重点マークの取組分野)

将来の姿を実現するうえで、特に重要な10分野を「次世代へつなぐプロジェクト」として設定しました。

京都市全体のまちづくりの視点

京都市全体のまちづくりを踏まえ、あらゆる分野で必要となる4つの横断的な視点を整理しました。

将来の姿 (基本理念)

**西山の自然と文化かがやき 未来をひらく西京区**

西京区は、西山連峰などの緑豊かな自然と魅力ある文化遺産とが調和した特色ある地域です。これらを大切に受け継ぐとともに、人と人が支え合い、活力にあふれた未来をひらいていくことを表しています。

**まちづくりの方向性 ①**

**人と人が支え合う区民が主役のまちづくり**  
～地域の絆を育み、安心して暮らせるまちを目指して～

【取組分野】	【キーワード】
①誰もが尊重されるまちづくりの推進	(人権・共生)
②地域コミュニティの更なる活性化	(地域コミュニティ)
③住民自治を支える地域の絆づくり <b>重点</b>	(地域の絆)
④協働によるまちづくりの推進	(区民参加)
⑤地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制の構築 <b>重点</b>	(福祉)
⑥健康づくりの推進	(健康)
⑦子育て・教育環境の充実	(子育て・教育)
⑧次世代の担い手の育成 <b>重点</b>	(次世代の担い手)
⑨安心して安全なまちづくりの推進	(安心・安全)

**まちづくりの方向性 ②**

**環境と共生するまちづくり**  
～美しい自然を守り育て、未来へ引き継ぐまちを目指して～

【取組分野】	【キーワード】
①自然環境の保全と緑化の推進	(自然環境)
②歩いて楽しいまちづくりの推進	(歩くまち)
③まちの美化活動の推進	(まちの美化)
④脱炭素・循環型社会の構築	(脱炭素・循環型社会)
⑤田園環境の保全と農業の振興	(農業)

地域ボランティアによる見守り活動      再整備中の洛西竹林公園 子どもの広場      名月のフォトコンテスト      西京区総合庁舎整備(第1期工事)

**まちづくりの方向性 ③**

**人と歴史・文化が輝くまちづくり**  
～地域の魅力を活かし、多彩な交流が進むまちを目指して～

【取組分野】	【キーワード】
①地域の歴史・文化の継承と活用	(歴史・文化)
②地域の魅力を活かした観光の振興	(観光)
③市民スポーツの振興	(市民スポーツ)
④生涯学習の推進	(生涯学習)
⑤学術・医療機関等との連携の推進 <b>重点</b>	(学術・医療機関)
⑥近隣自治体等との連携の推進 <b>重点</b>	(近隣自治体)

**まちづくりの方向性 ④**

**暮らしやすい都市基盤が整うまちづくり**  
～快適で、いつまでも住み続けたいと思うまちを目指して～

【取組分野】	【キーワード】
①暮らしを支える公共交通の更なる充実 <b>重点</b>	(公共交通)
②創造的な都市圏を創出する新たな交通ネットワークの検討 <b>重点</b>	(新交通ネットワーク)
③暮らしやすい道路環境の整備	(道路環境)
④河川・上下水道の整備	(河川・上下水道)
⑤地域のにぎわいにつながる公園づくり <b>重点</b>	(公園)
⑥京都の持続可能な発展につながる芸大跡地の活用と洛西ニュータウンの再生・活性化 <b>重点</b>	(芸大跡地・洛西ニュータウン)
⑦地域経済活動の活性化と職住近接のまちづくり <b>重点</b>	(地域経済・職住近接)
⑧美しい景観とまちの活力につながる住環境の創出	(景観・住環境)
⑨西京区総合庁舎整備	(総合庁舎整備)

京都市全体のまちづくりの視点

文化力

京都は、伝統に革新を重ね、新たな文化芸術を生み出してきました。文化とあらゆる分野の融合を推進し、新たな価値の創造や相乗効果により、経済や社会の発展を牽引していきます。

定住人口の増加、企業活動の活性化

少子化による人口減少、高齢化が進行しています。定住人口の増加、企業活動の活性化を図り、地域の活力を維持・創出します。

地域力

学区単位のコミュニティは、地域における様々な自治活動の基礎となっています。地域の「気づき、つながり、支える」力を高めていきます。

レジリエンス、SDGsの推進

レジリエンスは、様々な危機に対処し、より良く発展する能力、SDGs<sup>※</sup>は、持続可能な社会の実現に向けて国連で掲げられた国際目標です。目標達成に向けて、地方公共団体や企業等の主体的な取組が求められています。  
※ Sustainable(持続可能な)Development(開発)Goals(目標)の略称で、17の目標があります。(各「まちづくりの方向性」にアイコンを掲載しています。)